



The service club to the YMCA  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF**  
**TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23  
 西宮 YMCA 内  
 Tel (0798)35-5987

HP QR コード



例会 QR コード



“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988  
**宝塚ワイズメンズクラブ 2025年 6月会報 第438号**

**主 題 ・ 標 語**

国際会長(I P) A Shanavaskhan (A・シャナヴァスカーン) (インド)

主 題 “Together for a better World” 「より良い世界の為に、共に」

スローガン “Arise and Shine” 「立ち上がろ、そして輝こう」

アジア太平洋地域会長(AP) Joan Wong(ジウン・ウォン)(香港)

主 題 “Make a Great Impact “ 「大きなインパクトを起こそう」

スローガン “Be Bold and Serve by Faith “ 「大胆に、信念をもって奉仕しよう」

西日本区理事(RD) 鶴丹谷 剛 (神戸)

主 題 つなげよう地域と世界、YMCA と共に

スローガン 楽しもうフェロウシップをポジティブに

六甲部長 小野勅紘 (西宮)

主 題 一人は万人のために、万人は一人の為に

スローガン Y (YMCA) ・ Y (ユース) ・ W (ウィン) ・ W (ウィン) の関係で互いに支援しましょう！

宝塚クラブ会長 長尾 亘

主 題 楽しい例会があって、YMCA・地域活動を大切に！

西日本区 6月強調テーマ:評価と引継ぎ  
 次年度に向けて更なる良い活動が出来るよう、一年の活動の評価  
 と総括を実施し、クラブメンバーで共有しよう。

理事 鶴丹谷 剛

**2025年 6月 例会**

日 時 : 2025年6月18日(水)18時30分

場 所 : 宝塚市西公民館セミナー室

会 費 : 1,500 円

ドライバー 武田寿子・福田宏子

開会点鐘 長尾 亘 会長

ワイズソング 全 員

聖書・祈祷 小林康男

ゲスト・ビジター紹介 長尾 亘 会長

食事・懇親

卓話 「2024~25年度の活動評価と総括」

会長・各事業委員会委員長

各会報告

YMCA報告 橋本 唯 担当主事

誕生日のお祝い 長尾 亘 会長

ニコニコ献金

閉会点鐘 長尾 亘 会長

2024~2025 役員	会 長 長尾 亘 副会長 多胡葉子 福田宏子 書 記 若林成幸 会 計 小林康男 郡家 学 会計監査 石田由美子 風早寿郎 担当主事 橋本 唯 ネット連絡 小林貴美子 直前会長 石田由美子
6月 誕生日祝い	1 長尾ひろみ 3 若林成幸 5 青柳美知子 16 矢部美紗 17 小林貴美子 19 丸茂 幸 25 郡家敏子
5 月 実 績	会員在籍数(A) 17 名 例会出席総数(B) 21 名 (内Zoom 0名) (内訳) 会員(C) 11 名 ネット・アソシエイト 2名 ゲスト・ビジター 10 名 メイクアップ(内数D) 0 名 会員出席率 C+D/A 64.7% 例会充足率 B/A 123.5%
	<b>にこにこ献金・ファンド実績</b> ニコニコ 1,000 円 (累計 22,500 円) ファンド タカラムネ 1,000 円 (累計 37,850 円) 真菰茶 △17,250 円 (累計 6,650 円) その他 3,110 円 (累計 34, 710 円) 合 計 △13,140 円 (累計 101, 710 円)

## 今月の聖句

「神の風のままにお生きなさい。」(ガラテヤの信徒への手紙 5:16 ※ 井上洋治訳)

### 随 想

間もなくペンテコステを迎える。イエスと別れ、寂しさと不安を抱えていた使徒たちに不思議な力が注がれ、彼らは大胆に福音を証しする者へと変えられていった。天から吹き抜けたその力のことを、聖書は「聖霊」と呼んでいる。

「聖霊」(「霊」という言葉には多様な意味がある。新約聖書が書かれたギリシア語でも、旧約聖書が記されたヘブル語においても、この言葉は他に「息」や「風」をもつことは周知の通りだろう。まるでタンポポの綿毛のように、使徒たちは風に運ばれていったのである。

「風」について思いを馳せる時、脳裏に浮かぶ光景がある。それは、中高生の時に参加したYMCA キャンプでの一コマである。

野尻キャンプ場で行われる野尻学荘というキャンプにおいて、ボーイズたちの一番人気はヨットであった。私が好んで乗ったのはホッパーという一人乗りの小さな帆船だ。静けさに包まれた湖の上を、無心になってたった一人で進んで行く時間は、10代の僕にとって至上の喜びだった。

昼間は穏やかな野尻湖の水面は、夕方になると一変する。周囲を斑尾、黒姫、妙高などの山に囲まれた湖は、夕暮れ時になると、山々から吹き降ろす風によって賑やかに波打つのである。ボーイズたちは、太陽が西に傾きはじめると、我先にと湖へと駆け出したものである。

自力で漕ぎ進むには限界がある。遠くまで行くためには、風を待ち、風をつかまなければならぬ。もちろんそのためには技術や経験も必要である。しかし根本的には、風の力を受けることなしに進むことはできない。そのことを僕は、あの湖の上で教わったのである。

人の歩みも同じだろう。自分の力にのみ頼って生きようなどと、もがき続けなくてもいい。「聖霊の風」がきつと、一人ひとりを行くべき場所へと運んでくれることだろう。そんな安心感を抱きつつ、それぞれの沖へと漕ぎ出して行きたい。

甲東教会牧師 新堀真之



## 5月第1例会報告

5月の第1例会では神戸在住のウクライナ避難者である Sofia Sirotska さんを迎えお話しを聞いた。参加者はメンバー11名、芦屋クラブ5名と神戸ポートクラブ1名、メネット1名、計19名。通訳として岡野泰和ワイズが流暢に対応して下さった。

ゲストスピーカーの Sofia さんはウクライナのキエフ出身、両親に勧められて神戸市に在住の姉一家に身を寄せた。神戸には（はっきりしないが、）ウクライナの避難民は60家族、170人ほどと思う。神戸での生活は、日常の生活用品などは日本政府や神戸市から支給され、又通っているカナディアンアカデミー（神戸にアルアメリカンスクール）からの支援や精神的なサポートもあって安心して過ごせている。有馬のお煎餅屋でのアルバイトをしたり、英語を教えることで日本人やその文化を理解するのに良い経験となっている。日本に来て驚いたことは、先ず交通の便利さ（ウクライナも見習いたい）や、街で落とし物や忘れ物をしたことがあったが、色々な人の手を介して必ず戻ってきたことだ。ウクライナでは考えられない奇跡だと思った。未だ大学で勉強中だが、将来は得意の英語を生かしてアメリカの大学へ進学希望を持っている。何とか自立したいと考えている。戦時下のウクライナでの日常生活は困難を極めていて、空襲が続く中で住んでいる状態でした。東部の人達はロシアの侵攻を以前から怯えていたが、今、町は完全に破壊されてしまった。写真は縫いぐるみの山は、東部の町マリンボウで2022年ロシアの爆撃で亡くなった20人の子ども達の弔いのため記録写真だ。そのほかロシアが使ったと思われる兵器残骸の山などの写真を見せてもらった。その写真からロシアがどれだけ莫大なお金を兵器に使っているかわかる。ロシアはウクライナだけでなく地球を壊していると思うとソフィアさんは訴えられた。

私たちには現地の事情を想像する力は全く足りないが、一日も早い戦争の終結と若ソフィアさんの幸せを願う気持ちで一杯になった。

青柳美知子



## 第28回西日本区大会

### 第17回実行委員会報告(最終)

5月26日(月) 18時30分から全体としては最後の実行委員会を持ちました。この場に及んで未だ解決出来てない項目が幾つかあり委員会は予定時間をかなりオーバーしました。それらは以下の通りです。

1. 会場ホテルの9つの宴会場、会議室などが適正で無駄のない予約状況であるか
2. これを再検討する事により圧縮される経費はどの位になるか、赤字は避けたい!
3. 現在570名余、これを600名に増やすための効果的なアプローチは?
4. 単日開催である事でいかに効率よく限られた時間を使うか

大筋は決まっています実行委員会メンバーも認識していますが数々の意見が錯綜し本番までにクリアになるかどうか不安が残ります。

とは言え第28回西日本区大会をホストした六甲部はデコボコがあってもやるしかない!

みんなで力を合わせて楽しい大会にしましょう!

実行委員会 石田 由美子

## 5月第2例会議事要旨

5月第2例会を5月21日（水）18時30分から西公民館会議室で開催した。出席者は、長尾会長・多胡・石田・武田・福田・郡家・金岡・若林各ワイズの計8名。議事要旨は次の通り。

## 1. 例会運営について

- ① 西日本区大会（6/14）を見据えて、6/11（18時開会）を第2例会（大会運営の詳細説明・役割分担の確認等）、6/18を第1例会（当期の活動振り返りと次期の課題の共有）として運営する。各委員会責任者は実績報告と次期への課題を予め書記へ報告する。（様式は別途配布）
- ② 7月例会（キックオフ）（7/9）にて安行英文氏の入会式を行い、新会長・委員長の方針・計画発表、予算審議を行う。この際、次期の諸委員会の構成を見直した。  
なお、次期からアソシエイトにも各委員会に参画してもらう。

会長	多胡	事業委員会	委員長	委員	アソシエイト
副会長	福田	Yサ・ユース	武田	青柳・郡家・安行・橋本	石原
直前会長	長尾	CS・環境	金岡	清水・多胡	矢部・山田
書記	若林	EMC	福田	鯖尻・長尾・小林	
会計	小林	国際・交流	岡野	石田・真藤	福田素
メネット委員	小林貴・喜多	広報・ブリテン	若林	重松・風早	
担当主事	橋本	TIFA・NGO	小林	鯖尻・金岡	
監査	長尾・風早	ファンド	郡家	多胡	矢部
国際交流主査	石田	市民クリスマス	若林	多胡・長尾・石田・清水	

## 2. 当面の行事・出席者

- ① 第28回西日本区大会 大会参加 14名、ゴルフ会1名、前夜祭9名、
- ② 大会時、ファンドブースで真菰茶・タカラムネ販売
- ③ 大会準備会～6/9（月）16時～18時頃 神戸 YMCA202号室にて  
大会受付時に参加者に渡す資料パッケージの袋入れ、
- ④ 8/1～3 アジア太平洋地域大会（熊本市）…4名参加予定（参加者募集中）

## 3. ブリテン編集

編集案に基づき寄稿分担を協議。5月第1例会報告⇒青柳、今月の聖書⇒新堀牧師、区大会実行委員会⇒石田、CS講演会⇒多胡・風早、オオキンケイギク駆除⇒金岡（降雨のため中止）、ポップン20周年⇒長尾、YMCA報告⇒橋本  
投稿締切り 5/27 発行 6/1

## 4. その他

- ① YMCA 同盟が推進のミャンマー震災被災者救済募金に協力する。
- ② クラブ創立35周年記念事業の講師として招いたジャーナリスト弓狩匡純氏が始めた「ピースコンパス」事業の賛助方法を協議。氏との良好な関係を継続し、クラブとして賛助会員費8000円/年を決定した。また、氏と再会の機会を作ることも話し合った。
- ③ タカラムネの大量注文を清水ワイズが受注。今年10月、宝塚市文化財団と宝塚市在住の紙芝居創作・実演家の桐畑樹里氏は「全国紙芝居大会」を開催の予定。来場者にタカラムネを販売したいとの申し出を受けたもの。安い価格で提供し大会運営に協力する。また桐畑氏を例会に招くことを検討する。
- ④ 年度末にあたり個人のクラブ関係諸行事への参加費補助（クラブ内規3）を協議した。
- ⑤ 6月例会で会計収支状況を確認し①～④を実施する。

（若林成幸）

## 六甲部 CS 講演会～アートで考える共生社会～

今年度の六甲部のCS事業として講演会が5月17日に神戸YMCAチャペルで甲南大学、人間科学部の教授服部正先生を迎えて開催された。

これまで開催されてきた六甲部CS事業のキラリと輝くアート展を引き続き開催するにあたって障がいのある方々のアート展にどのように関わっていくのかがいいのかを実際研究されている服部先生に講演を依頼し、研鑽を積んで関わることをとCS事業委員会で協議して開催の運びとなった。

参加者は25人。宝塚クラブからは福田、若林、風早、多胡の各ワイズとアソシエイトの山田さんの5人の参加。

演題は”で考える共生社会”、5つのグループに分かれて座り、講演を聞きながら先生からの問いかけにグループで話し合いながら進められた。

先生はアール・ブリュットの出会いから障害のある方々のアートに関する取り組みを課題として取り組まれ、アートは障がいのある人、ない人の差別を乗り越えられる芸術と語られた。

私たちが取り組んでいるキラリと輝くアート展がアートで考える共生社会に繋がって行っていることを改めて考えさせられ、続ける意義を大いに勇気づけられた講演会だった。



CS 担当 多胡 葉子

### 【共生社会をアートで考える】

5月17日、神戸YMCAにて服部正教授の講演会に参加しました。

テーマは「アートで考える共生社会」。「作り手→作品←鑑賞者」。この視点は、アートを表現したい人が自由に創り、受け手が価値を見出したときに初めて成立します。それは、障害の捉え方にも重なります。障害は「個人の問題」ではなく「社会の設計」の問題。必要なのは平等ではなく「公正」。誰もが違いをもったまま共に生きられる社会を、アートがそっと照らしてくれる気がしました。

風早寿郎

### 神戸YMCA 総会

創立139年を迎える神戸YMCAが新しい体制の中、未来へ向けて会員の皆さまと共に【こども・若者・ボランティア】の持つ力を引き出せるよう祈りを重ね、思いを重ね、歩み出せる一日になることを願い、開催いたします。

日時：2025年6月28日(土)10:00~12:00 会場：神戸YMCA三宮会館チャペル

内容：第一部 礼拝 奨励 塚本潤一牧師(公益財団法人神戸YMCA評議員)

第二部 議事 ※議案は、常議員会の審議を経て、総会構成員の皆さまにご案内いたします。

報告・表彰

総会終了後、交わりの機会としてお茶会を予定しています。

問合せ：神戸YMCA本部事務局 TEL 078-241-7201

Eメール info@kobeymca.org



## ポップンリンガーズ、おめでとう、創立 20 周年！

ポップンリンガーズを知ったのは18年前でした。初めて「クリスマスキャロルの夕べ」に参加をすすめたのです。当時は皆んな小学生でした。そして人前で演奏するのは初めての経験でした。1回目は演奏が出来るかと言うよりもステージに皆んなが上がる事が出来るか心配でした。しかし、始まると1人1人が一つのベルを持って指揮者の指をしっかりと見て音を出して完璧に演奏したのです。それから毎年クリスマスキャロルの夕べに出演を目的に練習を重ね、1人が二つから三つのベルを担当してレパートリーも100曲になりました。今は完全なレギュラーです。これまでに色々な所からオファーもあってボランティア演奏回数も増え、段々と演奏の力をつけて来ました。そして、今年全国ミュージックベルコンクールにチャレンジすると聞き、宝塚クラブから若林ワイズと加西市まで応援に行きました。そして見事「金賞」を受賞したのです。素晴らしい演奏でした。私の個人的な18年間の思い出は熊本での合宿に一緒に行った事です。男子同志の体のお付き合い、一緒に温泉に入りました。そして熊本の知的障害者の人と交歓演奏会をして、熊本日日新聞に大きく活動内容を載せて貰った事です。アツと言う間の18年で、みんな成人に成りました。そして、ポップンリンガーズも今年設立20年を迎えるそうです。はじめの為に6月29日(日)に20周年記念演奏会と全国コンクール金賞受賞の報告会をするそうです。是非お時間のある方は出席してお祝いしましょう。

長尾 亘

**ポップン20周年 祝 記念コンサート**

第4回ミュージックベル・トーンチャイム全国コンテスト金賞受賞

2025年 6月29日(日)

宝塚市立中央公民館

13:30開場 14:00開演 入場無料 申込不要

**プログラム**

第1部 星に願いを ふるさと 他

第2部 You raise me up アメイジンググレイス 他

**プロフィール**

2004年結成。宝塚ボランティアプラザzukavoに登録している音楽ボランティアグループ。市内に在住する障がいのある8人とママ。そして指導の先生とボランティアさん1名で活動。2017年には熊本県まで遠征し、現地の障がい者団体や地域の方とジョイントコンサート開催。2024年で活動は20年を迎え、宝塚市政70周年まちづくり功労賞授賞。2025年 第4回ミュージックベル・トーンチャイム全国コンテスト一般の部で金賞受賞。私たちも楽しみたいし、皆さんにも楽しんでもらいたい♪をモットーに活動している。

主催: ポップンリンガーズ  
後援: 宝塚ワイズメンスクラブ  
お問い合わせ先: ポップンリンガーズ  
代表 田路みちる  
090-7340-3573

中央公民館 80797-73-6600

交通アクセス  
宝塚駅 徒歩12分  
宝塚市立中央公民館

ポップンリンガーズは音楽ボランティア活動20周年を迎えました。ミュージックベルの音色とポップンの音楽と一緒に楽しんでもらいたい!お待ちしております。